

# 第 8 講座 幕府政治の移り変わり

## 1 幕府政治の移り変わり 次の年表の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

年代	おもなできごと
1716年	8代将軍〔①〕が政治の改革に着手する――→〔②〕の改革
1772年	〔③〕が老中となる――→積極的な経済政策によって収入の増加をはかる
1774年	前野良沢・〔④〕らが「解体新書」を出版する――→蘭学が発達する
	わいろによって政治がみだれ、失脚←
1787年	老中の〔⑤〕が政治の改革に着手する←
	〔⑥〕の改革
1798年	〔⑦〕の「古事記伝」が完成する――→〔⑧〕の大成
1814年	〔⑨〕の「南総里見八犬伝」の出版が始まる
	このころ、江戸を中心に〔⑩〕文化が栄える

## 2 享保の改革 次の問いに答えなさい。

- (1) 享保の改革を行った江戸幕府の8代将軍はだれか。〔 〕
- (2) (1)の人物が行った改革について、次の文中の〔 〕にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

一、人を殺し盗みをした者は、市中を引き回したうえ獄門(なぐら)し首の刑とする。

一、領主に対して、無理やり訴えごとをし、徒党を組んで他の村へ逃散する百姓があれば、その首謀者は死刑とする。

① 大名を1年おきに領地と江戸を往復させる参勤交代の制度を一時ゆるめるかわりに、幕府へ〔 〕を献上させた。〔 〕

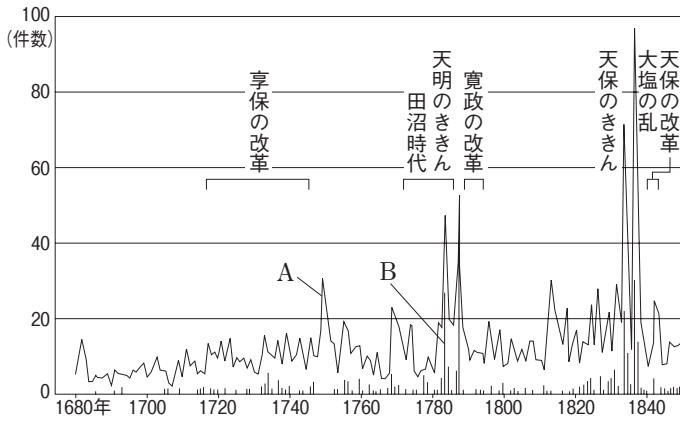
② 民衆の意見を政治に反映させるために〔 〕という投書箱を設けた。〔 〕

③ 左のような、裁判の基準となる〔 〕という法律を定めた。〔 〕

④ 収穫量にかかわらず一定の〔 〕を取り立てるようにした。〔 〕

## 3 社会の変化 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 18世紀になると農村にも〔 〕経済が広がり、自給自足の経済はくずれ始めた。〔 〕
- (2) 農村では貧富の差が広がり、土地を買い集めて〔 〕となる者が現れた。〔 〕
- (3) (2)の一方で、土地を失って〔 〕人になったり、都市に働きに出る者も多くなった。〔 〕
- (4) 豊かな問屋商人や地主が、機織りの原料の糸や織機などを百姓に貸し、工賃をわたして製品を引き取る生産方法を〔 〕という。〔 〕
- (5) (4)の方法が発達すると、やがて付近の貧しい百姓を労働者として雇い、作業場で分業によって生産を行う〔 〕という生産方法も現れた。〔 〕
- (6) 足利や桐生は、西陣織と並ぶ〔 〕織物の産地として発展した。〔 〕



- (7) 左の資料中のAは、領主や代官に対して百姓がおこした [ ] の件数である。 [ ]
- (8) 資料中のBは、都市で米の買いしめをした商人などに対しておこした [ ] の件数である。 [ ]
- (9) (7)や(8)は、人々が重い年貢などに苦しむなかで、天災や、餓死者をだす [ ] のときに多くおこっている。 [ ]

#### 4 幕府政治の改革 次の文中の [ ] にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 享保の改革のあと、1772年に老中になった [ ] は、大商人を利用して幕府の財政を立て直そうとした。 [ ]
- (2) (1)は、商工業者が [ ] という組合をつくることを奨励した。 [ ]
- (3) (1)が失脚したのちに老中となった松平定信は、 [ ] とよばれる改革を行った。 [ ]
- (4) 松平定信は、湯島の聖堂を幕府の学校とし、旗本や御家人に [ ] を学ばせ、幕府の教育機関ではこれ以外の学問を禁止した。 [ ]
- (5) 1837年に、もと役人の [ ] が、天災に苦しむ人々を救おうと乱をおこした。 [ ]
- (6) 老中 [ ] は、百姓を村に帰させたり、物価を下げるために(2)の解散を行ったりした。 [ ]

#### 5 新しい学問と文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 古典を研究して、外来の仏教や儒教の影響を受ける以前の日本固有の文化を明らかにしようとする学問を何というか。 [ ]
- (2) 本居宣長は、「古事記」を研究して何という書物を著したか。 [ ]
- (3) オランダ語の書物からヨーロッパの学問・文化を研究する学問を何というか。 [ ]
- (4) 杉田玄白らが、オランダ語の人体解剖書を苦心の末に翻訳して出版した書物を何というか。 [ ]
- (5) 長崎に医学塾を開いた、オランダ商館の医者はだれか。 [ ]
- (6) 西洋の測量術を取り入れて、正確な日本全図をつくった人物はだれか。 [ ]
- (7) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を学んだ学校を何というか。 [ ]
- (8) 武士の子弟に学問や武道を教えるため、各地の藩で設けられた学校を何というか。 [ ]
- (9) 江戸時代後半の江戸を中心として発達した町人文化を何というか。 [ ]
- (10) 次の説明にあてはまる人物名を下から選んで答えなさい。
- ① 「東海道五十三次」などの風景画の錦絵をえがいた人物。 [ ]
- ② 「富嶽三十六景」などの風景画の錦絵をえがいた人物。 [ ]
- ③ 錦絵のなかでも美人画で活躍した人物。 [ ]
- ④ 貧しい百姓の素朴な感情を俳諧(俳句)によんだ人物。 [ ]
- [ 葛飾北斎 喜多川歌麿 歌川(安藤)広重 小林一茶 ]

1 右の年表とグラフを見て、次の問いに答えなさい。

(1) 年表中の①について、次の問いに答えなさい。

- ① 徳川吉宗が行った、幕府政治を立て直すための改革を何というか。
- ② 吉宗は、民衆の意見を広く求めるために、何を設けたか。
- ③ 吉宗は、裁判の基準となる法律をつくった。これを何というか。

(2) 年表中の②によって、生活が苦しくなった百姓たちの間で、領主や代官に反抗する動きが強まった。これを何というか。

(3) 右のグラフは、米価の動きを示している。享保のききんがおこった時期を、ア～ウから選び、記号で答えなさい。

(4) 年表中の③の政治にあてはまるものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 生類憐みの令が出された。
- イ 長崎貿易に制限が加えられた。
- ウ 検地と刀狩を行って、兵農分離を進めた。
- エ わいろがさかんになって政治が乱れた。

(5) 年表中の④は、オランダ語の解剖書を翻訳して出版したものである。翻訳にあたった中心人物を2人答えなさい。

(6) 年表中の⑤について、次の問いに答えなさい。

- ① ⑤の人物が行った、幕府政治の改革を何というか。
- ② ⑤の人物は、幕府の学校では、儒学のある一派以外の講義を禁じて、学問の統制をはかった。この儒学の一派を何というか。

(7) 年表中の⑥について、次の問いに答えなさい。

- ① ⑥を完成させた人物はだれか。
- ② ⑥を完成させた人物が大成した学問を何というか。

(8) 日本各地を測量し、年表中の⑦をつくった人物はだれか。

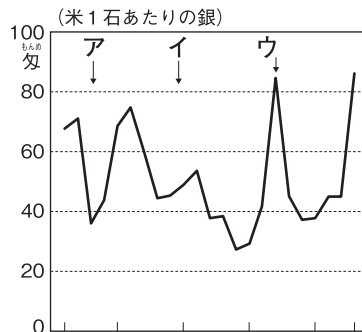
(9) 次の文のできごとがあてはまる時期を、年表中のア～エから選び、記号で答えなさい。

長崎貿易が奨励され、沼地の干拓が行われ、蝦夷地の開拓も計画された。

(10) 次の史料は、年表中の⑧の政治を風刺した□である。川柳と並んで町人の間で流行した、□にあてはまる文芸を何というか。

白河の清きに魚のすみかねて もとの濁りの田沼恋しき

年代	おもなできごと
1716	徳川吉宗が8代将軍となる…①
	↓ア
1732	大ききんがおこる…②
	↓イ
1772	田沼意次が老中となる…③
1774	「解体新書」が出版される…④
	↓ウ
1787	松平定信の改革が始まる…⑤
1798	「古事記伝」が完成する…⑥
	↓エ
1821	精密な日本地図がつくられる⑦
1837	大塩の乱がおこる
1841	天保の改革が始まる



1

	①
(1)	②
	③
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	①
	②
(7)	①
	②
(8)	
(9)	
(10)	

**2** 農村工業の発達について、次の問いに答えなさい。

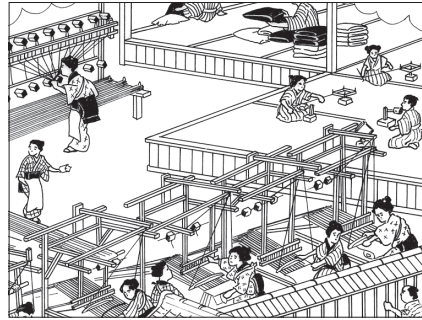
(1) 18世紀に入ってから農村の変化について、誤って述べているものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 綿・菜種・藍などの商品作物の栽培がさかんになった。
- イ 水田がくわ畑や塩田に転用されることが増え、米の生産が大きく減った。
- ウ 百姓の間の貧富の差が拡大し、土地を失う百姓が増えた。
- エ 貨幣経済が広がり、自給自足の体制がくずれていった。

(2) 京都でさかんに生産された絹織物のよび名を、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 大島紬
- イ 桐生織
- ウ 黄八丈
- エ 西陣織

(3) 豊かな問屋商人が、原料や道具などを百姓に貸すかわりに、工賃をわたして製品を全部引き取る方法を何というか。



(4) 右の絵のように、働く人々を農村から集め、工場で分業と協業によって生産を行う方法を何というか。

(5) (4)の方法を取り入れて発達した産業を、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 印刷業
- イ 金融業
- ウ しょうゆ醸造業
- エ 製鉄業

**2**

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

**3** 化政文化について、次の問いに答えなさい。

(1) 化政文化は、何という都市を中心に栄えたか。

(2) 化政文化の特色を、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 禅宗の影響を受けた、簡素で深みのある文化である。
- イ 町人の好みを反映した庶民的な文化で、地方にも広まった。
- ウ 新興の大名や豪商の財力を背景にした、豪華で雄大な文化である。
- エ 上方中心の町人文化で、明るく活気ある文化である。

(3) 次の①～④にあてはまる人物名を、あとのア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 人情や風俗をとらえたこっけい本とよばれる小説の作者で、代表作に「東海道中膝栗毛」がある。
- ② 変化に富んだ物語のなかに教訓をふくめた読本とよばれる長編小説の作者で、代表作に「南総里見八犬伝」がある。
- ③ 浮世絵の作者で、「富嶽三十六景」では、富士山をモデルにして個性的な風景画をえがいた。
- ④ 「雪とけて村いっばいの子どもかな」など百姓の素朴な感情を俳諧(俳句)によんだ。

- ア 葛飾北斎
- イ 井原西鶴
- ウ 十返舎一九
- エ 小林一茶
- オ 滝沢馬琴
- カ 近松門左衛門

(4) 化政文化がさかんなところ全国各地に開かれた、町人や百姓の子どもが、「読み・書き・そろばん」など、実用的な知識を学んだ場所を何というか。

**3**

(1)	
(2)	
(3)	①
	②
	③
(4)	④